

デジタル部会の審議状況について（報告）

1 日 時 令和8年7月8日（水）13:00～14:03

2 場 所 総務省第2庁舎6階特別会議室及びWeb会議

3 出席者

【委 員】

會田 雅人（部会長）、後藤 玲子、長谷川 秀司

【臨時委員】

小西 葉子、中川 郁夫

【専門委員】

浦田 真由、細川 努

【審議協力者】

東京都

【事務局（総務省）】

北川政策統括官（統計制度担当）

阿南大臣官房審議官

北原国際統計交渉官

統計委員会担当室：谷本室長、赤谷次長、中野政策企画調査官 ほか

4 議 題

（1）部会長代理の指名

（2）今期のデジタル部会の進め方について

（3）今年度委託研究について

5 概 要

（1）部会長代理の指名

長谷川委員を部会長代理に指名。

（2）今期のデジタル部会の進め方について

資料4－2「今期のデジタル部会の議題（案）」等に沿って、事務局から説明を行った。
部会において出された主な意見等は、以下のとおり。

- ・デジタルエコノミー、経済社会の統計的把握は、国際的な議論をベースにしたほうがよい。2025年は統計の基準についてのフレームワークが決定された年で、SNAの最新

のものが採択されたほか、国際収支統計（ＢＯＰ）のマニュアルも改定された。国際的なフレームワークのデジタルとの関係について、現状（統計への実装の作業状況など）を（本部会で）伺いたい。

- ・デジタル社会を広く捉える視点が大事である。売上げのような見える数字だけではなく、商品の売り方、すなわち市場構造や、顧客の捉え方の構造が変わってきている。この部会で、何らかの指標を挙げて、データ収集を開始する前段として、どんな変化が起こっているかを考える場を作ったほうがよいのではないか。
- ・日本の経済の構造問題や国際収支の議論の場に出てくるのがいわゆる「デジタル赤字」で、今６兆円とか７兆円とかの赤字であると言われている。デジタル赤字の現状を捉えられるように、各方面のデジタルの指標についても整理したほうがよい。

部会長から、今後の進め方については、次回以降、議事が進んでいく中で変更することもある旨の発言があった。

（３）今年度委託研究について

資料４－３、資料４－４及び資料４－５に沿って、事務局から、今年度、実施予定の委託研究の内容等について、説明を行った。

部会において出された主な意見等は、以下のとおり。

- ・文献調査の際に、報告者の負担軽減に資するようなところもしっかり調査していただきたい。日本では、いまだにエクセルに依存している調査があると聞いており、オープンソースが大事だというのは四半世紀前ぐらいから言われている。例えば、ＡＩが、フォーマットにかかわらず、（報告者が所有している）ファイルから転載する形で自動入力し、担当者がそれを最終的に確認すればよいというような形のＡＩ活用もあると思う。
- ・シェアリングエコノミーは、Ｃ to Ｃ（消費者と消費者）あるいはＰ to Ｐ（個人と個人）がメインになっている。この部分は、事業所あるいは企業を中心とした既存の統計では把握が難しい。各国がいわゆるマッチングプラットフォームを利用した取引をどのように把握しているのか調査していただきたい。
- ・ＤＸによる新しい財・サービスの創出、機能・性能の向上に関わることで、サービスの価格について質の変化を捉える必要があつて、それに伴う価格の品質調整が各国でどのように行われているかというのを（本部会で）教えていただきたい。
- ・ＤＸに関する統計的把握について、何をＤＸとして捉えているかというのをまず整理したほうがよい。
- ・デジタルの変化として、これまでは大規模システムを購入して導入していたのが、今や

サブスクリプションが当たり前である。クラウドサービスを使うのは、大きなシステムを買うのではなくて、使っている分だけ払って使うということである。このような資産を所有するという考え方からアクセス権を買うという考え方への構造的な変化も、調べていただきたい。

- ・統計作成のデジタル化について、デジタル技術を活用することにより、統計作成のプロセス自体にどのような影響が出ているのかを調べていただきたい。
- ・今まで構築してきた統計システムは、レガシーシステムのようになっていて、手作業で次の段階に向けた開発をするのでは、なかなかスピードアップしないのではないか。統計作成を含めて、システム開発自体にＡＩを活用することについて、国際的な事例があるか、調べていただきたい。
- ・ＤＸについて、諸外国の事例を参考にするのは非常に大事である一方、日本は人口減少や高齢化が進む地域ということで、行政や地域住民、民間が連携してＤＸを進めているなど、海外とは異なる部分も多い。そのため、日本独自の地域ＤＸの実態とか、その変化を把握できるようなデータもあるとよいのではないかと思う。

意見交換の内容を踏まえ、提示された意見を調査内容に反映し、実施することとされた。

以上